

平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月15日

上場会社名 株式会社ウェッジホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2388 URL http://www.wedge-hd.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 此下 竜矢
 問合せ先責任者 (役職名) 開示担当 (氏名) 横山 幸弘 (TEL) 03-6225-2207
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	4,312	56.7	827	174.7	741	113.0	144	262.3
26年9月期第2四半期	2,751	25.0	301	△40.9	348	△37.6	39	△83.2

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 2,019百万円(380.9%) 26年9月期第2四半期 419百万円(△75.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	5.31	5.14
26年9月期第2四半期	1.46	1.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	34,098	13,177	20.1
26年9月期	27,651	11,098	21.6

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 6,839百万円 26年9月期 5,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0	—	0	0
27年9月期	—	0			
27年9月期(予想)			—	0	0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	41.8	1,800	478.8	1,700	337.0	400	400.0	14.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期2Q	27,263,600株	26年9月期	27,263,600株
27年9月期2Q	39,400株	26年9月期	39,400株
27年9月期2Q	27,224,200株	26年9月期2Q	27,224,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは当第2四半期連結累計期間においては、増収増益となりました。売上高は43億12百万円（前年同四半期比56.7%増）、営業利益は8億27百万円（同174.7%増）、経常利益は7億41百万円（同112.9%増）、四半期純利益は1億44百万円（同262.3%増）となりました。

ファイナンス事業において2014年に買収いたしましたThanaban CO., LTD. が大幅に貢献したこと、またタイ王国及びカンボジア王国における営業活動の結果として営業貸付金が増加したことにより、四半期売上高が過去最高額を計上しました。さらに①積極的に投資を継続してまいりましたカンボジア王国におけるファイナンス事業が成長を果たして利益化し、さらに急速に利益が増加しつつあること、②タイ王国においては厳格な審査を続けてきたことや積極的な不良債権処理を継続したために営業貸付金の質が向上したこと、③さらに政情不安等が解消されて支払い遅延が減少しつつあることなどにより、大幅な営業利益増を実現しました。

一方、日本国内のコンテンツ事業は、当第2四半期連結累計期間においてはコンテンツの端境期と重なり今後の事業成長に向けての投資的開拓期間となった結果、減収減益となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社の関係する日本、タイ、カンボジアをはじめとするCLMV諸国などのマクロ経済につきましては、以下のような状況でありました。日本は消費税増税後の停滞ないし後退状況であり、タイはヨーロッパ並びに中国向け輸出の不調から成長は継続するものの徐行状況でありました。一方、カンボジア、ラオスをはじめとするCLMV諸国は旺盛な国内需要を受けて極めて好調でありました。当社としては今後とも短期的な景気判断や収益に適切に対処しながらも囚われることなく、中長期的視点で経済成長する地域に適切に投資し、当社の成長を目指していくものです。

以上のように、当社グループの掲げる中期経営計画「アクセルプラン2012」に定めた方針に基づき、事業展開を加速しております。

なお、上記金額に消費税等は含まれておりません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ファイナンス事業

ファイナンス事業の当第2四半期連結累計期間における業績は、増収増益となりました。ここ数年にわたって行ってまいりました事業拡大のための投資活動が成果を着実にあげており、現在においても中長期的な成長に向けての投資を継続しつつも利益が拡大したものです。

またファイナンス事業において①カンボジア王国におけるファイナンス事業が成長を果たして利益化し、さらに急速に増加しつつあること、②積極的に投資を継続してまいりましたタイ王国において政情不安等が解消されて支払い遅延が減少しつつあること、③前四半期までに過去の貸付けに対して貸倒引当金の繰入や資産売却損を計上し終えた上に、新規貸付審査基準の高度化によって営業貸付金の質が向上したことなどにより、大幅な利益増を実現しました。

当事業は、タイ証券取引所一部に上場する連結子会社のGroup Lease PCL. が営むオートバイファイナンスを中心とし、審査や回収のノウハウに独自性を持ち、ASEAN全域への展開を目指しております。前連結会計年度におきましては、タイ王国国内で大型買収を実行し、タイ王国国外でも積極的な事業活動を展開するための投資的施策を実行してまいりました。現状においてはこれらの投資的施策が順調に実を結びつつあると同時に、タイ国内の利益率の回復基調が鮮明になっており、さらに向上すると予測しております。今後とも事業成長のため中長期的視点から投資を行うとともに、既存事業の収益向上に努めてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における現地通貨建ての業績は、売上高は11億30百万バーツ（前年同期比46.2%増）、セグメント利益（営業利益）は2億59百万バーツ（同88.7%増）となりました。

又、連結業績に関しては円安が大きな影響を与え、円建ての業績では、売上高は40億35百万円（前年同期比65.2%増）、セグメント利益（営業利益）は9億11百万円（同116.8%増）となりました。

② コンテンツ事業

コンテンツ事業は、減収減益となりました。これは当第2四半期連結累計期間がコンテンツの端境期となったこと、今後の受注となるコンテンツの営業的仕込み期間となったこと、中長期的な成長に向けての投資的活動期間となったこと等によるものです。

当事業は、主にトレーディングカードゲーム制作やエンターテインメント関連の書籍及び電子書籍の制作、音楽及び関連商品の製作を行っており、様々なコンテンツを商品化する企画制作・編集・制作に独自性を持ち展開しております。

売上高については、カードゲームのロイヤリティ収入が堅調に推移したものの、エンターテインメント関連の書籍類の編集事業について、コンテンツの端境期となったことから前年同期と比べて受注点数が減少した影響により減収となりました。

これらの諸活動の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2億77百万円（前年同期比10.0%減）、セグメント利益（営業利益）は49百万円（同44.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて64億46百万円増加し、340億98百万円となりました。

流動資産は54億13百万円増加し、289億62百万円となりました。主な内訳はファイナンス事業における契約残高増加に伴う営業貸付金の増加16億9百万円、転換社債預り金の入金に伴う現金及び預金の増加37億52百万円であります。

固定資産は10億33百万円増加し、51億36百万円となりました。主な内訳は有形固定資産の増加51百万円、無形固定資産の増加16百万円、投資その他の資産の増加9億65百万円であります。

流動負債は2億83百万円減少し、111億39百万円となりました。主な内訳は短期借入金の減少28億75百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加26億円であります。

固定負債は46億50百万円増加し、97億80百万円となりました。主な内訳は社債の増加1億50百万円、転換社債預り金の増加36億3百万円、長期借入金の増加8億76百万円であります。

純資産は20億79百万円増加し、131億77百万円となりました。主な内訳は四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億44百万円、為替換算調整勘定の増加7億14百万円、少数株主持分の増加12億17百万円等であります。

②キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて37億52百万円増加（前年同期比249.7%増）し、当第2四半期連結累計期間末の残高は52億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、9億69百万円（前年同期は3億28百万円の使用）となりました。その主な内訳は、営業貸付金の減少額6億25百万円、営業活動が順調に推移したことによる税金等調整前四半期純利益の計上7億25百万円、貸倒引当金の減少額4億19百万円等であります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、6億22百万円（前年同期は1億61百万円の獲得）となりました。その主な内訳は、差入保証金の差入れによる支出6億93百万円、貸付金の回収による収入1億75百万円、有形固定資産の取得による支出66百万円、無形固定資産の取得による支出19百万円等であります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、28億44百万円（前年同期は11億16百万円の獲得）となりました。その主な内訳は、短期借入金の減少額31億64百万円、長期借入による収入73億34百万円、長期借入金の返済による支出48億39百万円、転換社債払込金の預りによる収入34億86百万円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期通期連結業績予想につきましては、上半期までの達成状況を鑑み、売上高は前回発表を5億円下回る85億円、営業利益は前回発表を11億円上回る18億円、経常利益は前回発表を10億円上回る17億円、当期純利益は前回発表を2億50百万円上回る4億円を予定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,499,486	5,251,550
受取手形及び売掛金	103,031	129,250
営業貸付金	22,237,317	23,846,729
商品及び製品	8,303	7,495
仕掛品	16,784	13,792
原材料及び貯蔵品	76,100	104,360
繰延税金資産	323,831	311,539
その他	1,049,167	1,008,081
貸倒引当金	△1,765,466	△1,710,598
流動資産合計	23,548,558	28,962,201
固定資産		
有形固定資産	326,262	377,829
無形固定資産		
のれん	720,840	752,081
その他	450,958	435,950
無形固定資産合計	1,171,799	1,188,031
投資その他の資産		
関係会社株式	1,689,321	1,965,429
長期貸付金	619,919	619,919
破産更生債権等	404,655	225,292
繰延税金資産	84,125	55,823
外国株式購入預託金	24,218	24,218
その他	186,199	902,523
貸倒引当金	△403,648	△222,941
投資その他の資産合計	2,604,792	3,570,265
固定資産合計	4,102,854	5,136,126
資産合計	27,651,412	34,098,327
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,216	53,760
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
短期借入金	4,352,932	1,477,208
1年内返済予定の長期借入金	6,457,880	9,058,003
未払法人税等	17,564	57,547
引当金	125,169	64,159
その他	377,517	409,309
流動負債合計	11,423,280	11,139,988
固定負債		
社債	1,691,034	1,841,647
転換社債預り金	-	3,603,849
長期借入金	3,380,713	4,257,297
繰延税金負債	28,904	41,167
退職給付に係る負債	20,876	28,429
その他	8,305	8,121
固定負債合計	5,129,835	9,780,512
負債合計	16,553,116	20,920,500

純資産の部			
株主資本			
資本金	1,956,525	1,956,525	
資本剰余金	3,138,245	3,138,245	
利益剰余金	286,577	431,019	
自己株式	△40,961	△40,961	
株主資本合計	5,340,387	5,484,829	
その他の包括利益累計額			
為替換算調整勘定	640,602	1,354,875	
その他の包括利益累計額合計	640,602	1,354,875	
新株予約権	30,206	33,639	
少数株主持分	5,087,100	6,304,482	
純資産合計	11,098,296	13,177,827	
負債純資産合計	27,651,412	34,098,327	

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,751,885	4,312,641
売上原価	849,784	1,036,273
売上総利益	1,902,100	3,276,367
販売費及び一般管理費	1,600,767	2,448,691
営業利益	301,333	827,675
営業外収益		
受取利息	18,888	15,102
持分法による投資利益	37,767	-
為替差益	631	-
その他	441	1,209
営業外収益合計	57,728	16,312
営業外費用		
支払利息	707	1,060
社債利息	8,000	49,631
為替差損	-	42,730
持分法による投資損失	-	5,850
その他	1,915	2,723
営業外費用合計	10,623	101,996
経常利益	348,438	741,991
特別利益		
持分変動利益	2,134	-
特別利益合計	2,134	-
特別損失		
持分変動損失	-	16,022
特別損失合計	-	16,022
税金等調整前四半期純利益	350,572	725,969
法人税、住民税及び事業税	129,164	44,116
法人税等調整額	△15,528	87,458
法人税等合計	113,636	131,574
少数株主損益調整前四半期純利益	236,936	594,395
少数株主利益	197,067	449,953
四半期純利益	39,868	144,441

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	236,936	594,395
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	140,141	1,142,648
持分法適用会社に対する持分相当額	42,775	281,957
その他の包括利益合計	182,916	1,424,606
四半期包括利益	419,852	2,019,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,837	858,715
少数株主に係る四半期包括利益	280,015	1,160,286

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	350,572	725,969
減価償却費	51,907	85,171
のれん償却額	16,741	21,427
貸倒引当金の増減額(△は減少)	145,919	△419,685
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	-	5,454
その他の引当金の増減額(△は減少)	△23,592	△70,001
受取利息及び受取配当金	△18,888	△15,102
支払利息	707	1,060
社債利息	8,000	49,631
持分法による投資損益(△は益)	△37,767	5,850
新株予約権戻入益	-	△80
持分変動損益(△は益)	△2,134	16,022
売上債権の増減額(△は増加)	△23,192	△25,804
営業貸付金の増減額(△は増加)	△1,200,507	625,119
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,657	△16,787
仕入債務の増減額(△は減少)	13,147	△17,970
その他	346,532	9,077
小計	△340,896	979,352
利息及び配当金の受取額	7,080	42,193
利息の支払額	△915	△45,123
法人税等の支払額	6,023	△6,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	△328,707	969,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△55,869	△66,016
無形固定資産の取得による支出	△40,741	△19,773
貸付金の回収による収入	71,609	175,187
差入保証金の増減額(△は増加)	182,153	△693,208
その他	4,609	△18,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	161,761	△622,743
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△16,000	△3,164,241
長期借入れによる収入	2,591,200	7,334,781
長期借入金の返済による支出	△2,996,399	△4,839,825
社債の発行による収入	1,526,340	-
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
転換社債払込金の預りによる収入	-	3,486,651
少数株主からの払込みによる収入	20,899	36,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,116,041	2,844,269
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,707	560,591
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	953,801	3,752,063
現金及び現金同等物の期首残高	545,819	1,492,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,499,621	5,244,550

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ファイ ナ ンス事業	コン テン ツ事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	2,442,663	308,538	2,751,202	683	2,751,885	—	2,751,885
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,442,663	308,538	2,751,202	683	2,751,885	—	2,751,885
セグメント利益	420,602	89,228	509,830	△124,911	384,919	△83,586	301,333

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発等及び投資育成事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△83,586千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ファイ ナ ンス事業	コン テン ツ事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,035,020	277,534	4,312,555	85	4,312,641	—	4,312,641
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,035,020	277,534	4,312,555	85	4,312,641	—	4,312,641
セグメント利益	911,683	49,481	961,165	△58,661	902,503	△74,828	827,675

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発等及び投資育成事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△74,828千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社の連結子会社であるGroup Lease PCL. は、平成27年3月6日開催の取締役会において同社が発行する予定の転換社債についてJ TRUST ASIA PTE. LTD. との間で転換社債引受契約を締結することを決議し、その後の平成27年4月27日開催の同社株主総会において当該転換社債の発行の承認決議が行われております。

1. 契約の相手先 : J TRUST ASIA PTE. LTD.
2. 発行価格 : 30,000,000米ドル
3. 利率 : 5%
4. 償還期間 : 3年間
5. 転換価格 : 1株当たり10タイバーツ
6. 全額転換後の株式数 : 97,087,379株 (予定)
7. 全額転換後の持株比率 : 8.2% (予定)
8. 発行の時期 : 平成27年5月 (予定)
9. 担保 : なし
10. 資金の使途 : ファイナンス事業のASEAN全域への事業展開に充当